

第50回 環境安全委員会 資料1

東京PCB処理事業所 2023年度の処理・設備保全の状況 及び今後の処理見通し

2024年3月25日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社
東京PCB処理事業所

目次

0. 2023年度の処理状況及び今後の処理見通し(概要)	・・・ 3
1. 2023年度の処理状況	・・・ 4
2. 今後の処理見通し	・・・ 8
3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理	・・・ 12
4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果	・・・ 16
5. 作業従事者の安全対策への取り組み状況	・・・ 22
6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応	・・・ 25
7. 教育・訓練等の実施状況	・・・ 26
8. 施設見学の状況	・・・ 29
9. 設備保全の実施状況及び予定	・・・ 29
10. 本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画	・・・ 30

0.2023年度の処理状況及び今後の見通し(概要)

■コンデンサーの処理

- ・2023年度見通し229台を想定。
(2月末までの処理実績：207台 + 3月見通し22台)

■廃PCB油の処理

- ・2023年度は、新規対象の4,966kgを処理完了。

■廃粉末活性炭の処理

- ・2023年度見通し19.0t処理で、すべて完了。

1. 2023年度の処理状況(水熱設備)

定期点検後、7月6日よりNo.2系 1 基運転で安定操業中。

水熱分解設備の稼働状況

設備等		2023年度												2023年度 実績見通し
		実績												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
水熱設備稼動日数	平均												*1	83
	1	*2	定期点検 5/15- 6/19	*3									*1	0
	2	➡ *4		*5	➡ *1								250	
	3	*6											*1	0

*1：2024年2月末断面での水熱分解設備の稼働見通し。

*2：2023年3月29日～定期点検に向け停止。

*3：水熱隔壁の扱い検討中のため停止。当該箇所の修繕は12月8日に完了。

*4：4月10日～定期定検に向け停止。

*5：7月6日立上げ。

*6：2022年8月1日～休止。

1. 2023年度の処理状況(変圧器の処理)

2022年は8月に2台を処理。

2023年度は計画、実績とも0台(発見対象無し)。

1. 2023年度の処理状況(コンデンサーの処理)

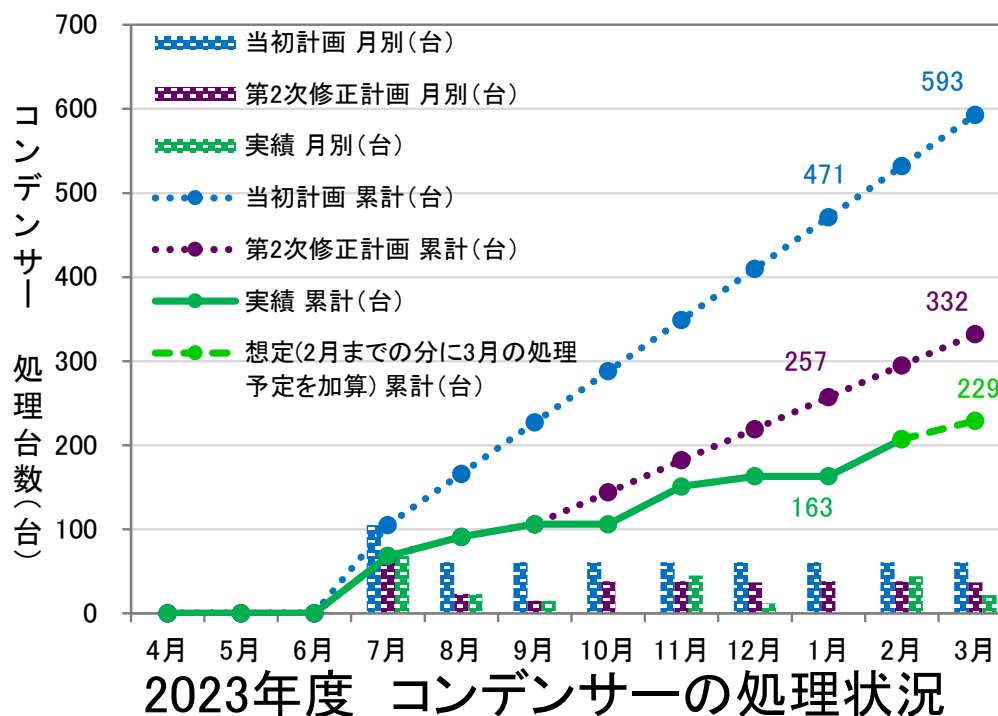
■2023年度処理実績見通し229台

○2023年度 2月末までの処理実績 207台。

○2023年度 3月の処理見込み 22台。

- ・当初計画：前年度の新規登録数より593台と計画。(2023年3月時点)
- ・第2次修正計画：今年度の上期の新規登録数より332台と計画。

(2023年9月時点)



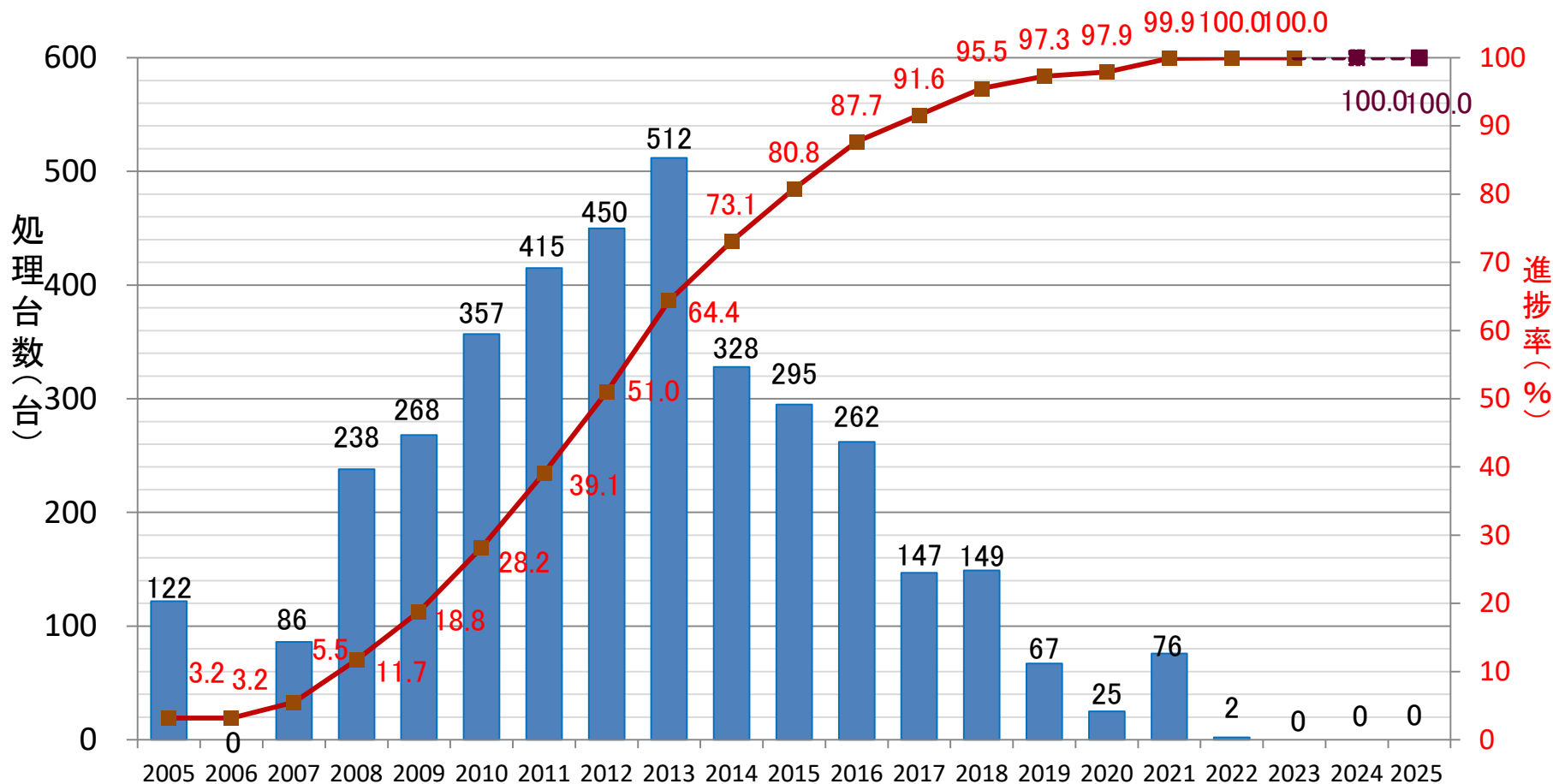
1. 2023年度の処理状況(操業開始時からの処理状況)

操業開始時からの処理状況

処理 対象物	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 2月迄	累計	対象 数量	進捗 率(%)
変圧器(台)	122	0	86	238	268	357	415	450	512	328	295	262	147	149	67	25	76	2	0	3,799	3,799	100.0
コンデンサー (台)*1	573	46	687	2,256	3,395	4,823	4,820	5,902	6,331	6,722	6,902	6,675	6,797	7,851	6,794	5,319	7,189	2,043	207	85,332	85,715	99.4
廃PCB油 (kg)	10,395	0	0	761	428	0	6,921	572	817	858	1,055	1,370	7,803	19,645	12,769	6,254	8,624	1,557	4,966	84,795	84,792	100.0
リン含有PCB油 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25,742	104,122	151,705	245	0	281,814	281,814	100.0
廃粉末活性炭 (kg)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10,616	0	26,708	40,098	50,222	21,942	26,478	29,764	15,885	221,713	227,559	98.7

2. 今後の処理見通し(変圧器)

2024年度、2025年度の処理理想定は0台。



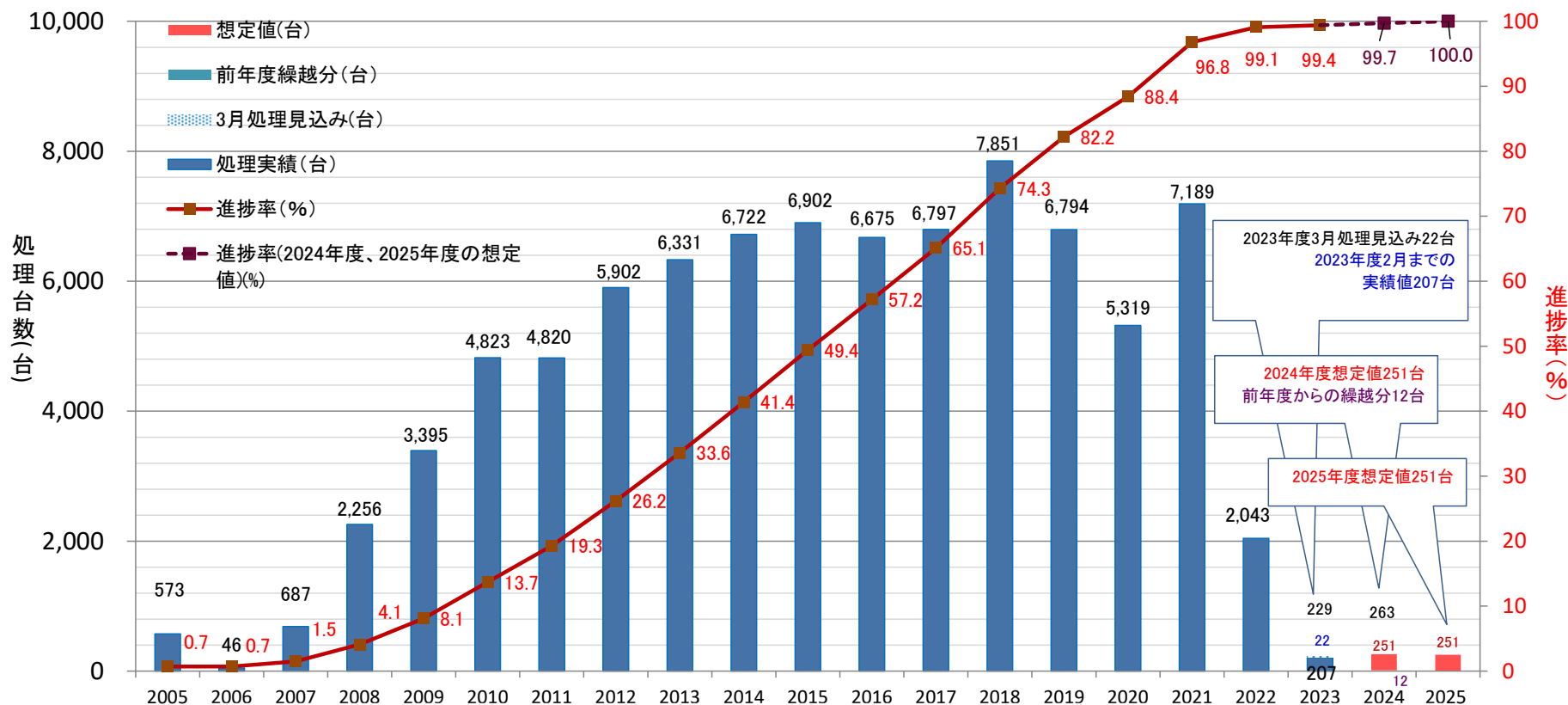
変圧器の操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し(コンデンサー)

2023年度処理見通し：229台

2024年度処理見通し：263台(このうち12台は前年度からの繰越)

2025年度処理見通し：251台

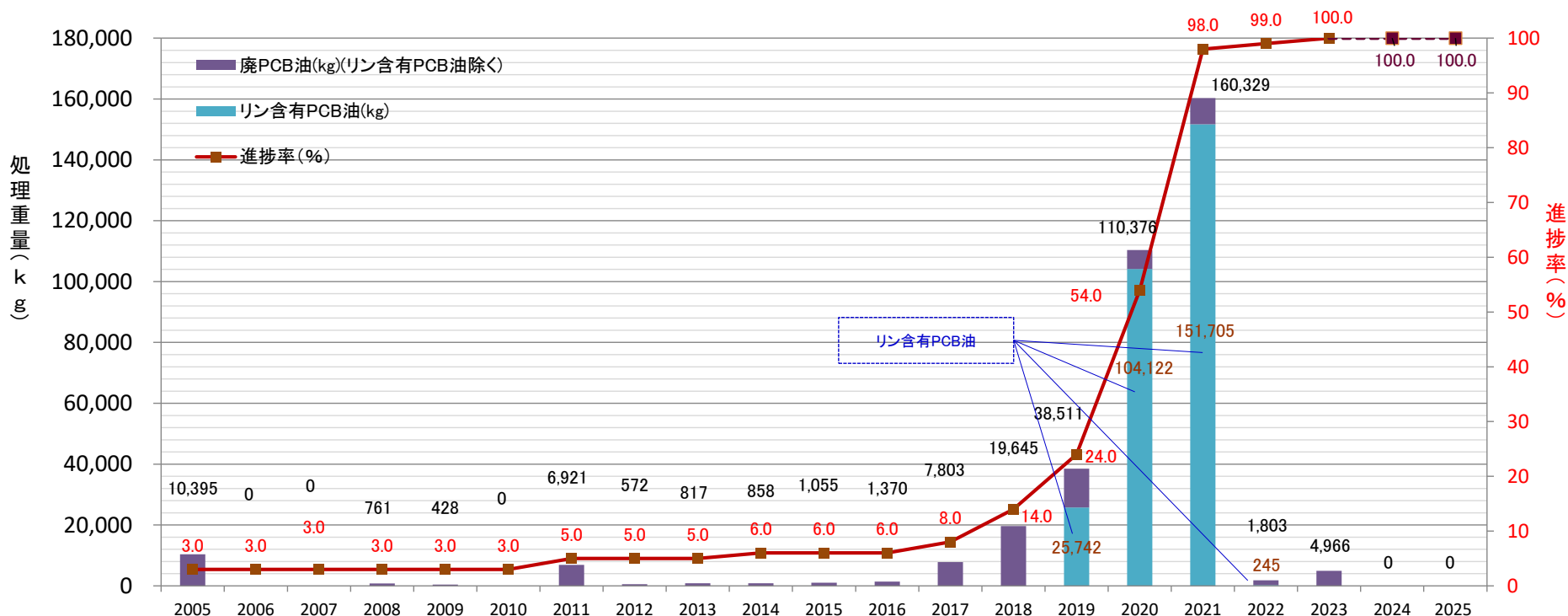


コンデンサーの操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し(廃PCB油)

2023年度の廃PCB油は、新規対象の4,966kgを処理し完了。

- ・上記のうち4,947kgは1件の保管事業者にて発見されたもの。
- ・リン含有PCB油を除く。なおリン含有PCB油の処理は2022年度に完了。



廃PCB油の操業開始時からの処理状況および今後の処理見通し

2. 今後の処理見通し(廃PCB油、廃粉末活性炭)

■ 廃PCB油

2022年度末までに、ほぼ全ての処理を完了。
 2023年度は新規発見の4,966kgを処理し完了。

■ 廃粉末活性炭

2023年度に大阪PCB処理事業所からの19 t を処理して、全対象量を完了見込み。

廃PCB油および廃粉末活性炭の処理見通し

種別・区分		2022年度 までの 処理量	2023年度		累計	処理 対象量
			処理計画 (修正)	実績見通し		
廃PCB油	重量 (t)	362	5	5	367	367
	[累積進捗率]	[98.6%]			[100%]	
	廃PCB油 (リンを含まない)	80	5	5	85	85
	リン含有PCB油	282	—	—	282	282
廃粉末 活性炭	重量 (t)	206	22	19	225	225
	[累積進捗率]	[90.5%]			[100 %]	
	北九州事業所	8	—		8	8
	大阪事業所	198	22	19	217	217

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■ PCB廃棄物搬入車両の状況

2023年度のPCB廃棄物搬入車両の台数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2023年度累計*1
搬入車両台数	5	7	7	15	11	10	4	1	6	12	12	90
(大阪事業所から)	—	—	1	1	1	1	1	1	0	1	2	9

*1 2023年度は2月末までの実績を示す。

※ 北九州事業所からの廃粉末活性炭の処理は2015年度で終了した。

年度別のPCB廃棄物搬入車両の台数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 *1
搬入車両台数	526	644	845	731	807	872	821	833	798	696	662	925	227	90
(大阪事業所から)	—	—	—	—	—	7	0	13	20	21	11	14	15	9
(北九州事業所から*)	—	—	—	—	—	3	0	0	0	0	0	0	0	0

*1 2023年度は2月末までの実績を示す。

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出実績及び予定

東京都ならびに江東区との間の取り決めの運用の範囲内で対応。

・低濃度廃棄物：月6台以下、月30t以下(高濃度廃棄物、解体廃棄物は含まず)。

二次廃棄物等の搬出状況

参考

2023年 月	種 別	運転廃棄物・処理物		解体廃棄物
		低濃度 数量(t)	高濃度 数量(t)	低濃度 数量(t)
4月	トラック台数 3台 (低濃度 3台)	9.624	0.000	0.000
5月	トラック台数 3台 (低濃度 3台)	12.562	0.000	0.000
6月	トラック台数 3台 (低濃度 3台)	14.610	0.000	0.000
7月	トラック台数 3台 (低濃度 3台)	14.571	0.000	0.000
8月	トラック台数 4台 (低濃度 4台(解体分混載 1台))	15.393	0.000	0.372
9月	トラック台数 4台 (低濃度 3台(解体分混載 2台))	14.342	0.000	3.570
上期計		81.102	0.000	3.942
10月	トラック台数 4台 (低濃度 4台)	11.035	0.000	0.000
11月	トラック台数 6台 (低濃度 3台、高濃度 2台、解体 1台)	5.671	2.100	6.708
12月	トラック台数 7台 (低濃度 3台、高濃度 1台、解体 3台)	12.559	1.662	16.848
1月	トラック台数 11台 (低濃度 2台、高濃度 2台、解体 7台)	4.010	4.071	39.089
2月	トラック台数 10台 (低濃度 3台、高濃度 3台、解体 4台)	8.010	4.105	10.690
3月				
下期計		41.285	11.938	73.335
合計		122.387	11.938	77.277

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■ 二次廃棄物(高濃度汚染物)の搬出実績

- ・処理が困難な高濃度汚染物は北海道事業所で処理。
- ・北海道PCB処理事業所の最大受け入れ量160tに対し、100t以下を目標に削減努力。
- ・2023年度の搬出計画は、上期の搬出はなし、下期より計画的に搬出とした。
- ・2023年度搬出量の見込みは16t、累計は92tになる見込み。

高濃度廃棄物の北海道事業所への搬出実績
 (上段：2023年度、下段：年度別推移)

月度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2023年度累計 ^{*1}	
搬出重量 kg	0	0	0	0	0	0	0	2,100	1,662	4,071	4,105		11,938	
年度	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023 ^{*1}	累計
搬出重量 kg	1,510		5,834		4,222		3,747		20,172		40,575		11,938	87,998

* 1 2023年度2月までの実績を示す。

3. PCB廃棄物の搬入・搬出・処理

■二次廃棄物(事業所内処理物)の処理実績

- ・事業所内処理物：工事やメンテナンスにより発生した工事廃材等(金属およびプラスチック類)を洗浄処理したもの。
- ・またこのほか、高濃度廃棄物を洗浄処理、あるいは、加熱処理することで低濃度化し、無害化処理認定施設へ払出することも進めている。

二次廃棄物（事業所内処理物）の処理実績（上段：2023年度、下段：年度別推移）

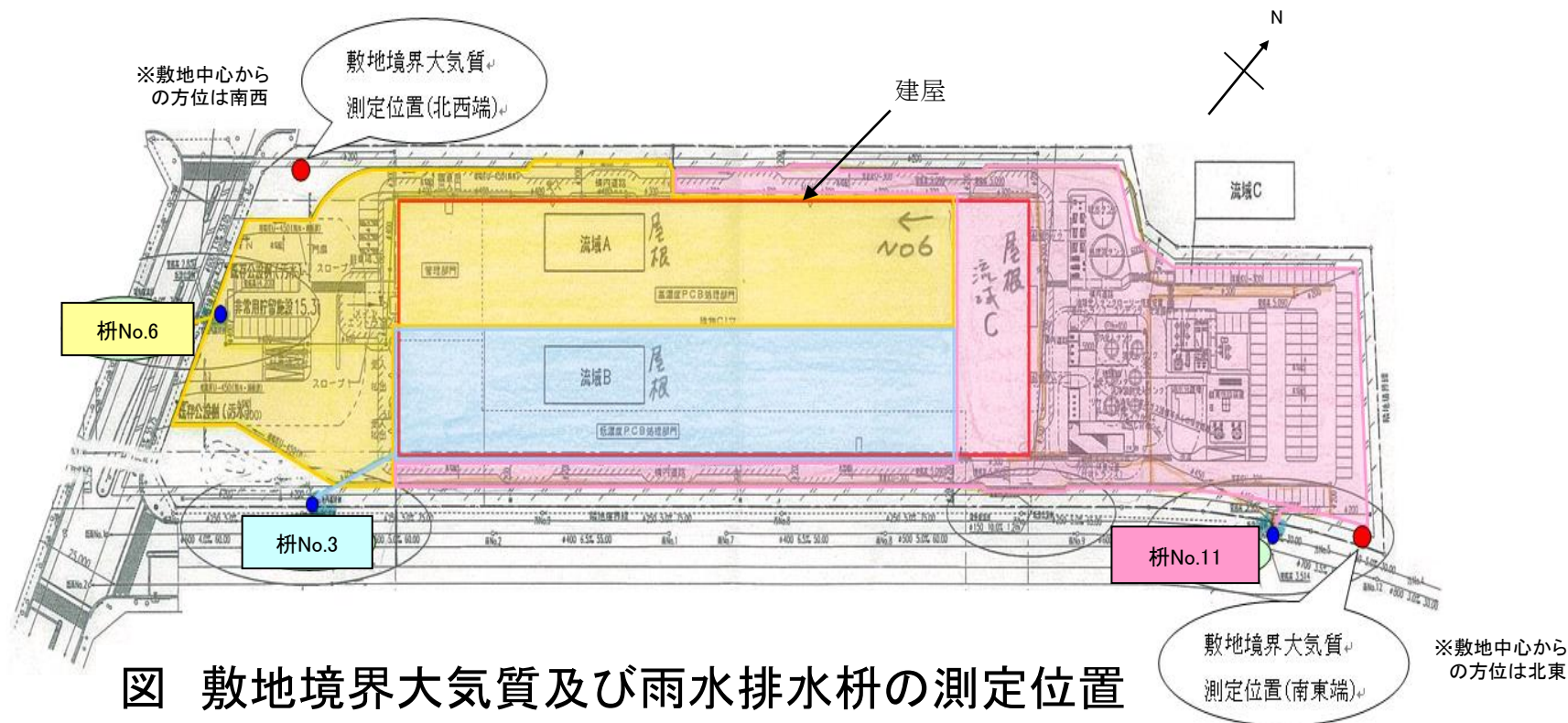
月度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計*1		
処理重量(kg)	0	0	0	6,601 (25)	829 (0)	2,644 (211)	5,892 (185)	12,075 (254)	5,214 (144)	0 (0)	10,664 (120)		44,392 (939)		
年度	2006～ 2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023*1
処理重量(kg)	0	10,746 (1,076)	15,767 (1,312)	12,122	14,746	11,472	21,267 (36)	41,613	47,080 (20)	33,935 (86)	26,766 (135)	52,190 (20)	25,739 (0)	41,299 (0)	44,392 (939)

()は洗浄処理したプラスチック運転廃棄物で二次廃棄物（事業所内処理物）重量の内数である。その他は金属運転廃棄物である。

*1 2023年度2月までの実績を示す。

4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

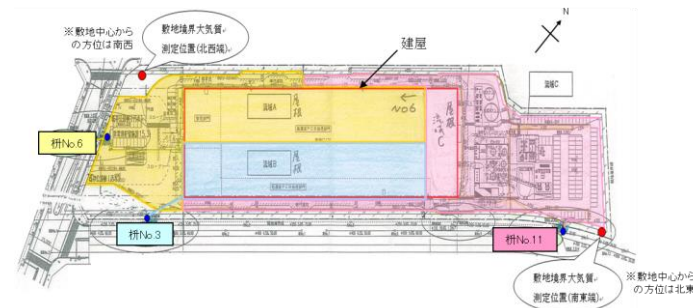
■ 施設からの排気・換気や排水及び敷地境界の大気や雨水については定期的に測定を行い、処理状況とともに、東京都及び江東区へ毎月報告している。



4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

■ 排気・換気

すべて環境保全協定値を下回り、良好な状態を維持している。



換気・排気の測定結果(2023年度)

測定場所	測定項目	単位	測定結果(2023年度)				環境保全協定値	測定頻度
			4/5,6	7/13,14	10/4,5	1/18,19		
排気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.01以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.0026	0.0071	0.042	0.0029	100以下	年4回 ¹⁾
	IPA	ppm	—	0.1未満	—	0.1未満	40以下	年2回 ²⁾
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.0005未満	0.0007	0.0005未満	0.0005未満	0.01以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.67	0.86	0.66	0.22	100以下	年4回 ¹⁾
換気系統1 (水熱分解・洗浄系)	PCB	mg/Nm ³	0.00017	0.00016	0.00009	0.00005未満	0.001以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.16	0.032	0.10	0.14	5以下	年4回 ¹⁾
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm ³	0.00019	0.00014	0.00008	0.00005	0.001以下	月1回
	DXNs	pg-TEQ/Nm ³	0.14	0.22	0.049	0.028	5以下	年4回 ¹⁾

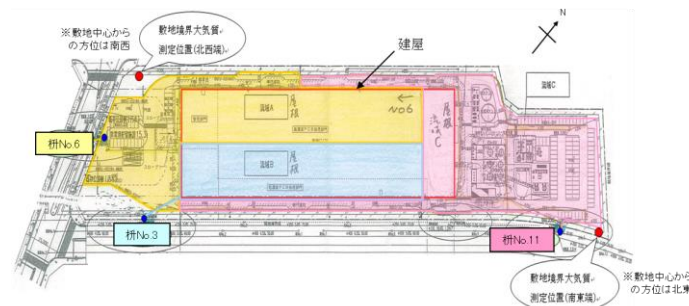
1) DXNsは、協定の年間2回に対し、自主測定も含め年4回(4月,7月,10月,1月)実施している

2) IPAは、協定では年間2回の実施であるが、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。

4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

排水

すべて環境保全協定値を下回り、
良好な状態を維持している。



排水の測定結果(2023年度)

測定項目	単位	測定結果(2023年度)												環境保全 協定値等	測定頻度
		4/12	5/10	6/28	7/20	8/23	9/19	10/11 ²⁾	11/1	12/6	1/18	2/7	3/4		
PCB	mg/ℓ	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		0.0015以下	月1回
pH	—	8.1	7.9	7.8	8.2	8.3	8.2	8.3	8.4	8.2	8.3	8.2		5を超え9未満	月1回
n-Hex抽出物質	mg/ℓ	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満		5以下	月1回
BOD	mg/ℓ	2.9	2.0	3.5	1.6	0.5未満	4.6	0.7	0.5未満	0.5未満	1.0	1.1		600未満	月1回
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	3	2	2	2	6	7	3	1	2	3	1		600未満	月1回
N(全窒素)	mg/ℓ	4.4	3.5	4.1	6.2	3.9	5.5	6.0	6.0	6.7	5.9	6.7		120未満	月1回
DXNs ¹⁾	pg-TEQ/ℓ	—	—	—	0.02	—	—	1.0	—	—	2.5	—		5以下	年2回
Zn(亜鉛)	mg/ℓ	0.08	0.10	0.06	0.06	0.05未満	0.07	0.08	0.10	0.09	0.08	0.20		2以下	月1回
P(リン)	mg/ℓ	0.06未満	0.06未満	0.15	0.09	0.06未満	0.13	0.06未満	0.06未満	0.06	0.08	0.06未満		16未満	月1回

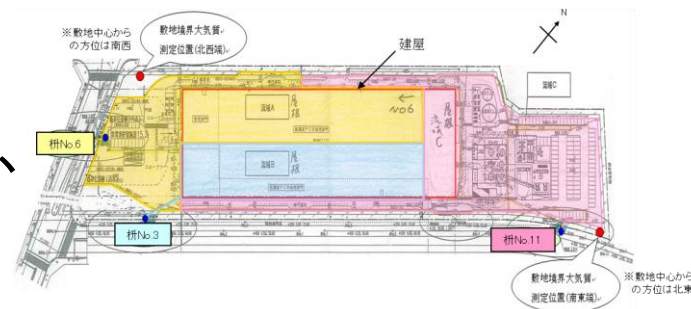
1) DXNsは、協定では年間2回の実施であるが、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回と
となるように実施する(協定測定分を含む)。

2) DXNsについては、低濃度施設の解体撤去に伴い測定を実施したものである。

4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

■ 敷地境界の大気質（PCB）

すべて定量下限($0.00005\text{mg}/\text{m}^3$)未満で、
管理指標としている暫定濃度を下回っている。



敷地境界の大気測定結果(PCB)(2023年度)

測定項目	測定箇所	測定日	測定結果	風向	暫定濃度	測定頻度
PCB mg/m^3	南東端	2023.4.5～12	0.00005未満	南西	0.0005 以下	年4回
		2023.7.13～20	0.00005未満	西南西		
		2023.10.4～11	0.00005未満	北		
		2024.1.18～25	0.00005未満	北		
	北西端	2023.4.5～12	0.00005未満	南西	0.0005 以下	年4回
		2023.7.13～20	0.00005未満	西南西		
		2023.10.4～11	0.00005未満	北		
		2024.1.18～25	0.00005未満	北		

※ 暫定濃度は環境庁大気保全局長通達(昭和47年環大気141号)に基づく。

※ 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

なお除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。

4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

■ 敷地境界の大気質（ダイオキシン類）

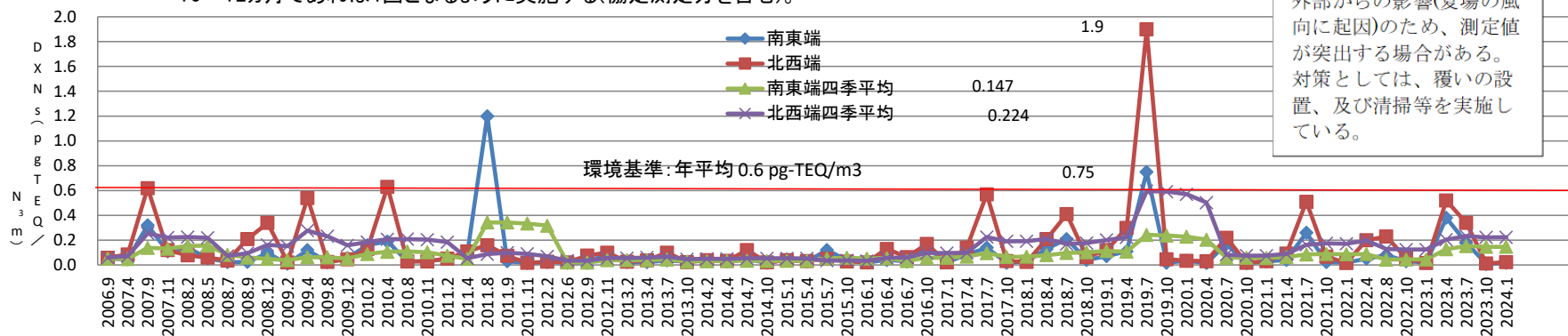
直近4季平均値は年間平均値で評価する環境基準値(0.6pg-TEQ/m³)以下であった。外部からの影響(夏場の風向に起因)のため、測定値が突出する場合がある。対策としては、覆いの設置、及び清掃等を実施するのとともに、引き続き傾向を注視していく。

敷地境界の大気測定結果(ダイオキシン類)(2023年度)

測定項目	測定箇所	測定日	測定結果	風向	年平均値	環境基準値	測定頻度
DXNs pg-TEQ/m ³	南東端	2023.4.5～12	0.380	南西	0.147	年平均 0.6以下	年4回
		2023.7.13～20	0.180	西南西			
		2023.10.4～11	0.0084	北			
		2024.1.18～25	0.018	北			
	北西端	2023.4.5～12	0.520	南西	0.224	年平均 0.6以下	年4回
		2023.7.13～20	0.340	西南西			
		2023.10.4～11	0.013	北			
		2024.1.18～25	0.023	北			

※ 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、現在は自主測定として年4回実施している。

なお除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。



4. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果

■ 雨水（PCB、ダイオキシン類）

いずれも自主管理目標値(環境保全協定値)を下回っていた。
 外部からの影響(夏場の風向に起因)のため、測定値が突出する場合がある。
 対策としては、清掃等を実施するのとともに、引き続き傾向を注視していく。

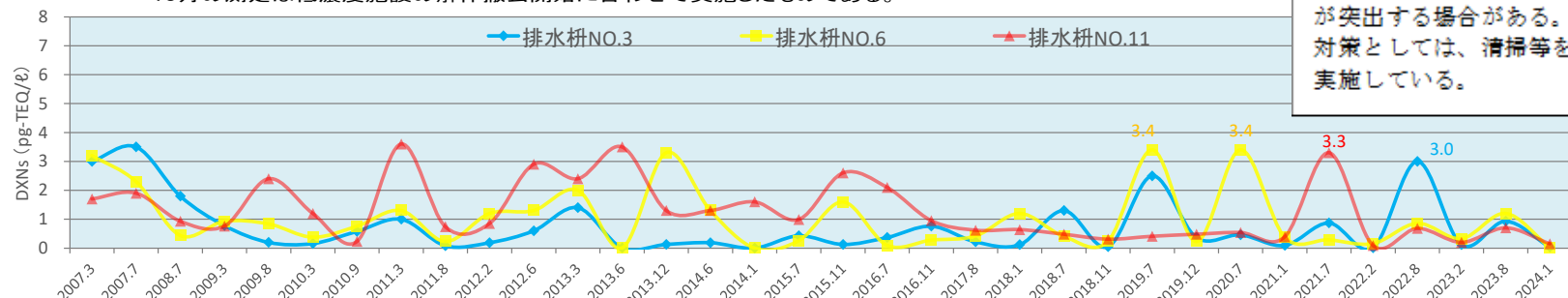
雨水のPCBとダイオキシン類の測定結果(2023年度)

測定箇所	測定項目	単位	測定日	測定結果	自主管理目標値	測定頻度
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2023.8.23	不検出	0.0015以下	年2回
			2023.10.11	不検出		
			2024.1.25	不検出		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2023.8.23	0.93	5以下	年2回
			2023.10.11	0.35		
			2024.1.25	0.034		
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2023.8.23	不検出	0.0015以下	年2回
			2023.10.11	不検出		
			2024.1.25	不検出		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2023.8.23	1.20	5以下	年2回
			2023.10.11	0.022		
			2024.1.25	0.020		
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2023.8.23	不検出	0.0015以下	年2回
			2023.10.11	不検出		
			2024.1.25	不検出		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2023.8.23	0.70	5以下	年2回
			2023.10.11	0.90		
			2024.1.25	0.15		

* 環境保全協定書における測定頻度は年1回であるが、自主測定を含め年2回実施している。

* 除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する(協定測定分を含む)。

* 10月の測定は低濃度施設の解体撤去開始に合わせて実施したものである。



5. 作業者の安全対策への取り組み状況

■ 作業環境の維持・向上

JESCO及び運転会社は、協同でPDCAを回しながら課題解決を図り、作業環境の維持・向上に取り組んでいる。

- ◆ 労働安全衛生法に基づく年2回(夏季、冬季)の作業環境測定を行っている。

対象作業場：PCBを取り扱う作業場(現断面では「除染室」のみ)
(2023年度夏季は、「コア解体鉄心解体(囲い場)」、「コア解体小物解体(囲い場)」の両箇所では、変圧器の処理がなかったことから、測定は行っていない。)

- ◆ 法定測定結果について、除染室の測定結果は、同法に基づく第1管理区分であり、良好な状態を維持している。

5. 作業者の安全対策への取り組み状況

■ 血液中PCB濃度の測定に基づく作業者の健康管理

- ◆ 作業従事者の血液中PCB濃度の基準値 25ng/g-血液 以下
⇒ 毎年8月の定期健診時に測定：超過者なし。
- ◆ 東京事業所の自主管理目標値：10ng/g-血液以下
⇒ 全作業従事者が目標達成。
- ◆ 自主管理目標超過者への対応
自主管理目標値以下に低減するまで、PCB暴露がない作業への配置換え、作業制限等の個別 フォローを実施。

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

- 作業員個々の危険予知の感性向上のため、出来るだけ多くのヒヤリハット報告を呼びかけ、2023年度は2月末までに526件が提出された。作業員数、処理対象物の減により、例年よりは若干少ないものの、活発な活動を継続している。
- 改善提案の提出を作業員に促すことで、作業安全の向上を図っており、処理量が減少しても更なる改善に継続して取り組んでいる。

6. ヒヤリハット活動(HHK)の状況と対応

ヒヤリハット活動の報告件数

項 目		年度															2023年度(2月まで)												
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
リス クレ ベ ル	Ⅳ重大 (15点以上)	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Ⅲ問題あり (10～14点)	6	16	18	19	10	9	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Ⅱ多少問題あり (6～9点)	77	99	122	188	144	138	225	168	265	295	238	135	34	11	9	0	5	1	0	0	0	2	0	0	0	1	9	
	Ⅰ殆ど問題なし (3～5点)	153	163	208	250	394	569	506	503	392	426	513	700	657	745	517	41	65	72	60	53	55	30	33	35	33	40	517	
	合計	236	278	349	457	553	716	732	673	659	721	751	835	691	756	526	41	70	73	60	53	55	32	33	35	33	41	526	
体験ヒヤリ		167	185	150	111	135	104	44	53	29	78	87	57	22	10	9	0	5	1	0	0	0	2	0	0	0	1	9	
想定ヒヤリ		69	93	199	346	418	612	688	620	630	643	664	778	669	746	517	41	65	72	60	53	55	30	33	35	33	40	517	

改善提案の件数

効果	年度										2023年度(2月まで)												年度計 *
	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
提案件数	108	76	67	88	79	71	57	74	62	66	5	5	2	4	12	7	4	0	0	3	5		47
安全性・信頼性向上	75	60	61	79	59	45	37	39	26	33	2	4	1	1	10	3	2	0	0	2	3		28
作業性・業務効率化	77	42	57	49	47	50	32	30	22	36	3	3	1	2	7	4	3	0	0	1	0		24
コストダウン	9	5	1	1	0	2	1	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
作業環境改善	23	21	10	12	10	8	8	18	7	18	0	1	2	2	4	4	0	0	0	1	3		17
その他	1	2	2	6	3	2	2	8	27	20	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1		3
合計	185	130	131	147	119	107	80	99	82	117	5	8	4	6	21	12	5	0	0	4	7		72

※効果区分は複数該当するものもあるため合計は提案件数を超えている。

7. 教育・訓練等の実施状況

■ 安全教育・訓練の実施状況

- ◆ 全員が受講する教育訓練・研修の他、職種、経験、職長、担当者等に応じた研修カリキュラムにより、年間を通じて計画的に教育訓練を行っている。
- ◆ 2023年度2月末までに実施した安全教育・訓練は59件で、延べ2,274名が受講した。また、定期点検期間を活用して、安全衛生関連の特別教育等を実施した。



産業医衛生講話「糖尿病」(12/12)



夜間休日緊急時対応訓練(1/12)

7. 教育・訓練等の実施状況

■ 総合防災訓練等の実施

◆ 総合防災訓練

- 毎年、深川消防署と連携して、総合防災訓練を実施。
- 11月22日に、東京都、江東区ご視察の下で実施。
- 地震発生・漏洩・火災を想定し、避難、自衛防災体制。
による初期消火、深川消防署の消火活動支援を実地訓練。

◆ 緊急時通報訓練

- 夜間・休祭日の運転会社体制時(JESCO不在)における
緊急事態発生を想定した、JESCO社員及び運転会社上長への
情報連絡訓練。
- 年3回計画し、2023年度は4月17日、9月20日、12月13日に
実施。

7. 教育・訓練等の実施状況

■総合防災訓練等の実施

◆夜間・休日防災訓練

- 交替勤務(4直体制)直ごとで防災訓練を2023年度は1月12日、1月26日、2月20日、3月5日に実施した(各直1回、計4回)。
- JESCOと運転会社で訓練状況を確認し、訓練終了後に意見交換を行うことで、参加者の気付き等を以降の訓練に反映し、対応力強化に努めた。

8. 施設見学の状況

- ◆ 2023年度は2月までに、5件82名の見学者を受け入れ、感染防止対策マニュアルに従ってご案内した。
- ◆ ビデオ動画をホームページ上で公開し、より多くの方々に理解を頂くよう努めている。

施設見学件数・見学者数

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023*	累計
件数 (件)	65	85	130	143	147	114	69	90	92	69	68	90	78	44	36	0	4	13	5	1,342
見学者数 (名)	1,048	1,310	1,938	1,669	1,578	1,292	596	823	1,235	665	861	813	816	540	513	0	13	142	82	15,934

* 2024年2月末までの実績を示す。

9. 設備保全の実施状況及び予定

■ 設備保全の2023年度実施状況及び2024年度の実施予定

「本格解体撤去工事完了までの施設の維持保全計画」に基づく、主な設備保全の2023年度の実施状況及び2024年度の予定は、以下の通りである。

【2023年度 実績】

- ◆ 主要処理設備(水熱分解設備、洗浄設備、及び加熱設備等)や 換気空調設備およびユーティリティー設備、モニタリング装置等)は従来通りの保全対応とした。
- ◆ 水熱設備では、通常実施している反応器管台、熱交換器出口連絡管、及び、蒸気漏洩トラブル以降に追加した箇所腐食・減肉点検を継続して実施し、問題ないことを確認した。
- ◆ 加熱設備では、今後のコンデンサーの処理が大きく減少することから、毎年実施していた機器内部清掃の間隔を約10,000時間とし、2024年1、2月で実施して問題ないことを確認した。次回の機器内部清掃は、設備稼働を停止するまでの期間内で設備状況を確認して実施を判断する。
- ◆ 洗浄設備では、洗浄液漏洩トラブルに対応し、今後も継続使用する洗浄設備 8 台の液面計を2024年2月中に更新済み。

9. 設備保全の実施状況及び予定

■ 設備保全の2023年度実施状況及び2024年度の実施予定

【2024年度 予定】

- ◆ 主要処理設備(水熱分解設備、洗浄設備、及び加熱設備等)や換気空調設備およびユーティリティー設備、モニタリング装置等)は従来通りの保全対応とする。
- ◆ 水熱設備では、通常実施している反応器管台、熱交換器出口連絡管、及び、蒸気漏洩トラブル以降に追加した箇所の腐食・減肉点検を継続して健全性を確認する。
- ◆ ダイオキシン対策管理の一貫として、2019年より毎年度、用役系/液処理系の排水活性炭ろ過器等の活性炭交換、排水貯槽等の清掃を実施しており、これを継続する。
- ◆ 特高受変電設備の機器を構成する電装部材の更新を、2023年度に続き2024年度分を実施する(2025年度で完了予定)。

(補足) 2024年3月 新規登録分廃棄物

■変圧器 : 2台 (A社2台)

■コンデンサー : 112台 (A社100台)

■廃PCB廃油 : 322.09kg (A社322kg)